

# 福祉事務所について

## 福祉事務所とは

福祉事務所とは、社会福祉法第14条に基づき設置されている社会福祉全般の窓口です。生活上の困難、福祉に関する相談窓口となります。都道府県及び市（特別区を含む。）は設置が義務付けられており、町村は任意で設置することができます。

最近では、市町村保健センター、保健所などと統合され「保健福祉事務所」「福祉保健所」「保健福祉センター」「健康福祉センター」といった名称となっているところもあります。



### ◇変容する福祉事務所の役割

都道府県福祉事務所では2003年4月から、従来の福祉六法から福祉三法（生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法）に関する行政として窓口を行う場所になっています。

## 生活保護法とは

病気や不幸等で生活が困難になった人に必要な保護をし、最低限度の生活ができるようにするとともに、自分の力で、生活できるよう助け育てていく法律です。

### ◇生活の困難さとは？

国が定めた最低生活費と、世帯の収入全てを比べて、最低生活費より収入が少ない時にその不足分が援助されます。最低生活費は家族の年齢、人数、扶助費用の内容によって決定されます。

### ◇収入とは？

収入は、世帯の全ての収入（給与、賞与、年金、恩給、仕送りなど）を対象とします。申請窓口は市区町村の福祉事務所です。原則的に本人か親族が書面にて申請を行います。

### 関連キーワード

保健所

収入

世帯

# 保健所について

## 保健所とは？

保健所とは地域住民の健康・衛生を支える公的機関の一つです。

地域保健法に基づき都道府県、政令指定都市、中核市その他指定された市又は特別区が設置します。

最近では、市町村保健センター、福祉事務所などと統合され「保健福祉事務所」「福祉保健所」「保健福祉センター」「健康福祉センター」といった名称となっているところもあります。

## 健康に関すること

自分の病気や健康に関する相談や支援が保健所の1つの役割です。

- ・病気の予防や体の健康増進、健康づくりなどへの取り組み。
- ・保健師による相談や、訪問活動。

## 精神障害者への相談・支援

保健所は精神障害者に関わる相談及び支援を行う行政機関でもあります。

- ・精神障害に関係する専門の医師による精神保健福祉相談。
- ・精神障害者社会適応訓練事業の活動（下のトピックスを参照）
- ・在宅の障害者を対象としたグループ活動

### トピックス：精神障害者社会適応訓練事業とは

社会適応訓練は、就労をめざす精神障害者の就労や社会生活のための訓練です。具体的には、この事業に協力してくれる事業主（登録事業所）で仕事をしながら訓練をします。

対象：社会生活を送る回復途上にあり、就労訓練を希望する精神障害者

窓口：保健所または市町村の窓口で申し込む。

費用：無料です。

★ 1日6時間、1ヶ月20日程度等、地域によって訓練の日数、時間が設定されています。

利用期限は6ヶ月で、1～2年まで延長できる地域もあります（地域によって異なります。）

★ 協力事業主に対しては訓練委託費が支払われます。この委託費は、協力事業主に支払われるもので、訓練をしている本人に支払われる手当の額は事業主との話し合いで決定します。

### 関連キーワード

精神障害者保健福祉手帳

# 経済生活：収入と支出

わたしたちは、収入をどのように得て、それをどのように使っているのでしょうか。

## 充実した生活を送るために

地域や生活環境によって家計状況は異なりますが、豊かな生活を送るために必要な生活費の大きな額を把握して対応を考えておくことが大切です。

現在の家計状況を振り返ってみましょう

目標

科 目		金 額	金 額
収 入	給与	円	円
	障害基礎年金	円	円
	その他（不労所得）	円	円
合 計 ①		円	円
支 出	食費（食材費、外食費）	円	円
	光熱費（ガス、水道、電気）	円	円
	通信費（電話代）	円	円
	生活消耗費（日用品、洋服）	円	円
	住居費	円	円
	教養費	円	円
	保険料（生命保険など）	円	円
	自家用車費	円	円
	その他（ローンなど）	円	円
	合 計 ②	円	円
残 高 (①-②)		円	円

自分で収入と支出のバランスを考えて管理することは大切です。  
あなたならどの様に生活を組み立てますか？



関連キーワード

収入と支出

障害基礎年金

生活費

# 経済生活：障害基礎年金

通常の生活に困難のある障害の状態になったときに支給される障害年金。安定した収入を確保するための方法の1つです。

## ◇障害基礎年金を受給するための要件

まずはチェックしてみましょう

○初診の年月日はいつですか？

○初診時に年金に加入していましたか？

### ◆国民年金に加入中の病気やけがによる障害基礎年金

・国民年金の加入者が、国民年金法の1級、2級の障害に該当する障害者となったときに支給されます。ただし、次の条件のどちらかを満たしている必要があります。

○初診日前に保険料の未納期間が加入期間の3分の1を超えていないこと

○または初診日の直前1年間に未納期間がないこと

※初診日とは、障害の原因となった病気やけがについて初めて医師の診療を受けた日のことをいいます。精神障害の場合、その日から1年6ヶ月経過したときに障害の状態であれば、障害認定日とされ申請することが出来ます。

### ◆20歳前の病気やけがによる障害基礎年金

・20歳前に初診日がある病気やけがによる障害が国民年金法の1級、2級の障害に該当する障害者となったときに支給されます。

・一定の障がいの状態にあれば保険料の納付状況に関わりなく、年金を受け取ることが出来ます。(障害者ご本人に一定額以上の所得がある場合や他の公的年金を受けている場合は支給が制限されることがあります。)

## ◇障害基礎年金の年金額

**1級** 990,100円(平成19年度金額)      **2級** 792,100円(平成19年度金額)

・金額は平成19年度現在のもので、次年度以降は変更される可能性があります。

障害基礎金の支給をうけることになった方に生計を維持されている子がいる場合には、加算があります。

## ◇問い合わせ窓口

市町村国民年金担当課へお問い合わせ下さい。

なお、参考になりますので、身体障害者手帳や愛の手帳(療育手帳)などをお持ちの場合は、ご持参ください。

## ◇もっと詳しく知りたい方は・・・

◎社会保険庁ホームページ

<http://www.sia.go.jp/seido/nenkin/shikumi/shikumi03.htm>

◎障害年金サポートセンターホームページ(受給までの流れが詳しく説明されています)

<http://www.syougai.jp/>

## 関連キーワード

初診日

安定収入

療育手帳/精神保健福祉手帳

厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）

発達障害（広汎性発達障害、ADHD、LD等）に係わる  
実態把握と効果的な発達支援手法の開発に関する研究

平成17年度～19年度 総合研究報告書

発行日 平成20年 3月  
発行者 主任研究者 市川 宏 伸  
発行所 〒156-0043 東京都世田谷区松原6-37-10  
東京都立梅ヶ丘病院医局  
TEL：03-3323-1621 FAX：03-3328-0312  
印刷 社会福祉法人新樹会 創造印刷

研究成果の刊行に関する一覧

書籍

17年度

著者氏名	論文名	編集者	書籍名	出版社	出版地	出版年	ページ
内山登紀 夫	高機能自閉症やアスペルガー障害の人たちのための福祉の現状と課題	日本自閉症スペクトラム学会	自閉症スペクトラム児・者の理解と支援ー医療・教育・福祉・心理アセスメントの基礎知識	教育出版	東京	2005	175-189
市川宏伸	自閉症と薬物治療	同上	同上	同上	同上	同上	44-51
安達潤	社会性スキルの獲得を支援する		アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために	学習研究社		2005	74-81
安達潤	発達障害者の教育をめぐる問題	ガイドブック編集委員会	発達障害者支援法ガイドブック	河出書房新社	東京	2005	70-85
市川宏伸	発達障害児の診断と医療ケアの問題	同上	同上	同上	同上	同上	57-63
小川浩	発達障害者の就労支援をめぐる問題	同上	同上	同上	同上	同上	78-85
辻井正次	発達障害者への社会の理解の問題ほか	ガイドブック編集委員会	発達障害者支援法ガイドブック	河出書房新社	東京	2005	92-96 124-128 181-189 190-195 286-293

							294-298
<u>日詰正文</u>	医療機関の整備と発達障害への医療における支援	同上	同上	同上	同上	同上	218-231
<u>市川宏伸</u>	注意欠陥多動性障害	坂田光允	こどもの精神看護	中山書店	東京	2005	119-125
<u>市川宏伸</u>	小児統合失調症について	保坂隆	精神科専門医にきく最新の臨床	中外医学社	東京	2005	22-24
<u>市川宏伸</u>	医療の現場から他	北村肇、野沢和弘	発達障害とメディア	現代人文社	東京	2006	134-156 197-205
<u>辻井正次</u>	成人期における課題と支援の方向他	市川宏伸、奥野宏二、志賀利一、日詰正文、寺山千代子	自閉症ガイドブック成人期編	日本自閉症協会	東京	2006	31-32 61-62
<u>市川宏伸</u>	病気になった場合の注意他	同上	同上	同上	同上	同上	44-46 67-69 126-129 151-152 159-162 240
<u>小川浩</u>	働くということ	同上	同上	同上	同上	同上	92-104
<u>安達潤</u>	社会資源の利用について	同上	同上	同上	同上	同上	111-114
<u>内山登紀夫</u>	こだわりのQ&A	同上	自閉症ガイドブック成人期編	日本自閉症協会	東京	2006	133-134 137

<u>田中康雄</u>	自分の症状の伝え方	市川宏伸、奥野宏二、志賀利一、日詰正文、寺山千代子	同上	同上	同上	同上	155-156
<u>藤岡宏</u>	身体の不調に気づくには	同上	同上	同上	同上	同上	156-157
<u>日詰正文</u>	作業所について	同上	同上	同上	同上	同上	182-184 235-236
<u>市川宏伸</u>	児童青年期の精神障害-発達障害を中心に-	仙波純一、石丸晶彦	放送大学大学院教材(新訂)精神医学	放送大学教育振興会	東京	2006	170-182
<u>田中康雄</u>	学校・地域からの援助	松本真理子	うつの時代の子どもたち	至文堂	東京	2005	194-204
<u>藤岡宏</u>	広汎性発達障害(主に自閉症)		精神科。神経科ナースの疾患別ケアハンドブック	メディカ出版	吹田	2005	143-146
<u>高橋脩</u>	発達障害児の親へのサポート	背木省三ほか	心理療法における支持	日本評論社	東京	2005	71-84
<u>緒方明子</u>	SOSのサインを出す子どもたち他	下司昌一、石隈利紀、緒方明子、柘植雅義ほか	現場で役立つ特別支援教育ハンドブック	日本文化科学社	東京	2005	2-3 10-16 71-73
<u>緒方明子</u>	通級による指導ほか	上野一彦、緒方明子ほか	特別支援教育基本養護100	明治図書	東京	2005	



小川浩	教育、就 労、生きが い活動	石渡和 実	障害者福祉 論	みらい		2005	
小川浩	援助付き 雇用	松為信 雄 菊池 恵美子	改訂新版職 業リハビリ テーション 入門	協同医書 出版		2006	

18年度

著者氏名	論文名	編集者	書籍名	出版社	出版地	出版年	ページ
田中康雄			軽度発達障 害のある子 のライフサ イクルに合 わせた理解 と対応	学研	東京	2006	
田中康雄	監訳	ネーブ ン, ルー ス・シュ ミット・ アンダー ソン, ヴ イツキ &ゴッド バー, テ ィム (著)	A D H D 医 学モデルへ の挑戦—しな やかな子ど もの成長の ために	明石書 店	東京	2006	
安達潤			自閉症ガイ ドブックシ リーズ4 成 人期	日本自 閉症協 会	東京	2006	111-114
安達潤、 市川宏 伸、井上 雅彦、内 山登紀 夫、神尾 陽子、栗 田広、杉 山登志			広汎性発達 障害日本自 閉症協会評 定尺度 (P A R S)	日本自 閉症協 会	東京	2006	

郎、辻井 正次ほか							
内山登紀 夫			本当のTE ACCH	学研	東京	2006	
高山 恵 子、内山 登紀夫			ふしぎだ ね!? ADHD(注意欠 陥多動性障 害)のおとも だち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
神奈川 LD協会、 内山登紀 夫			ふしぎだ ね!?LD(学習 障害)のおと もだち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
諏訪利 明、安倍 陽子、内 山登紀夫			発達と障害 を考える本 (1) ふしぎ だね!?自閉 症のおとも だち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
安部 陽 子、諏訪 利明、内 山登紀夫			発達と障害 を考える本 (2) ふしぎ だね!?アス ペルガー症 候群(高機能 自閉症)のお ともだち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
緒方明子	地域にあ る民間の 機関にお ける援助 -YMCAの 活動紹介 と民間の 場の利用 -	金谷京子 ほか	学習につま ずきのある 子の地域サ ポート	川島書 店	東京	2003	109-126
緒方明子	通常の学 級におけ	太田俊 己・宮英	発達障害の 教育支援法	放送大 学教育	東京	2007	141-148

	る発達障害への教育支援(1)	憲・中坪晃一		振興会			
緒方明子	通常の学級における発達障害への教育支援(2)	太田俊己・宮英憲・中坪晃一	発達障害の教育支援法	放送大学教育振興会	東京	2007	149-156
緒方明子	固有のニーズへの教育支援(1)自閉性障害を伴う場合	太田俊己・宮英憲・中坪晃一	発達障害の教育支援法	放送大学教育振興会	東京	2007	157-164
市川宏伸	行為障害		今知りたい異常心理	宝島社	東京	2006	156-169
市川宏伸	言語障害と注意欠陥多動性障害	太田昌孝	発達障害	日本評論社	東京	2006	65-78

19年度

著者氏名	論文名	編集者	書籍名	出版社	出版地	出版年	ページ
田中康雄			子どものメンタルヘルスがわかる本	明石	東京	2007	
内山登紀夫	対談:内山登紀夫 X 高森明	高森 明	アスペルガー当事者が語る特別支援教育, スローラーナーのすすめ	金子書房	東京	2007	89-103
辻井正次	特別支援教育で始まる楽しい学校生活の創り方		軽度発達障害の子どもたちのために	河出書房新社	東京	2007	

緒方明子		下司昌一・緒方明子・里見恵子・小西喜朗(	「特別支援教育の理論と実践、Ⅲ特別支援教育士の役割・実習」	金剛出版	東京	2007	
緒方明子		上野一彦・緒方明子・柘植雅義他	特別支援教育基本用語 100	明治図書	東京	2007	
高橋 脩	アスペルガー症候群・高機能自閉症:思春期以降の問題行動と対応		アスペルガー症候群論文集	星和書店	東京	2007	79-85
藤岡 宏			自閉症の特性理解と支援	ぶどう社	東京	2007	
市川宏伸	発達障害における衝動性	坂田三允	精神看護エクスペール 20	中山書店	東京	2007	101-110
市川宏伸			子どもの表情・しぐさ・行動がちよつと変だな?と思ったとき読む本	主婦と生活社	東京	2007	
市川宏伸	児童・青年期の精神障害 - 発達障害を中心に -	仙波純一、石丸昌彦	新訂 精神医学	日本放送協会	東京	2007	170-182
市川宏伸			自閉症を学びなおす	日本自閉症協会	東京	2008	
市川宏伸、宇野	心理的発達の障害	伊藤哲寛	精神医学精神保健福祉士テ	ミネルヴァ	京都	2008	133-140

陽太			キストブック 1				
市川宏伸	小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	伊藤哲寛	精神医学精神保健福祉士テキストブック	ミネルヴァ	京都	2008	140-146
市川宏伸	思春期のAD/HDの薬物治療		「精神科治療学」選定論文集	星和	東京	2007	279-285
市川宏伸	チック障害		今日の治療指針2008	医学書院	東京	2008	751

雑誌

17年度

発表者	論文名	発表誌	巻(号)	ページ	出版年
Uchiyama, T., Kurosawa, M., & YInaba, Y.	MMR -Vaccine and Regression in Autism Spectrum Disorders: Negative Results Presented from Japan	Journal of Autism and Developmental Disorder,	37	210-217	2006
Wakabayashi, A. Baron-Cohen, S., Uchiyama, T., Yoshida, Y., Tojo, Y., Kuroda, M., and Wheelwright, S. (	The Autism Spectrum Quotient (AQ) Children's Version in Japan: A cross-cultural comparison	Journal of Autism and Developmental Disorder	37	491-500	2006
内山登紀夫	軽度発達障害におけるアスペルガー	現代のエスプリ	465	50-60	2005

	症候群の位置づけ				
<u>内山登紀夫</u>	アスペルガー症候群の診断と治療	日本精神病院協会雑誌	24	1116 - 1120	2005
<u>内山登紀夫</u>	自閉症をめぐる現状 当事者の声親として, 当事者として	自閉症と発達障害研究の進歩	9巻	255-260	2005
<u>内山登紀夫</u> , <u>黒田美保</u>	非定型自閉症	精神科治療学	20巻	270-271	2005
<u>高橋和俊</u> , <u>内山登紀夫</u>	TEACCHの発想と支援の広がり	発達障害医学の進歩	17巻	49-58	2005
<u>内山登紀夫</u>	児童青年期精神医療の諸問題 クリニックから 現状と民間医療機関における児童青年期精神医療	精神神経学雑誌	107巻	141-148	2005
<u>伊藤則博</u> , <u>安達潤</u> , <u>糸田尚史</u> , <u>内田雅志</u> , <u>堀田保</u> , <u>山形積治</u>	児童養護施設に入所する「学習上・行動上に困難を抱える児童」の実態調査	北海道ノーマライゼーション研究	17号	71-83	2005
<u>安達潤</u>	軽度発達障害を持つ子どもの思春期	児童心理	825号	41-46	2005
<u>安達潤</u>	ソーシャルスキルとソーシャルストーリー	発達の遅れと教育	579号	26-27	2005
<u>辻井正次</u>	アスペルガー症候群 思春期・青年期	そだちの科学	5号	48-52	2005
<u>明翫光宜</u> , <u>内田裕之</u> , <u>辻井正次</u>	高機能広汎性発達障害のロールシャッハ反応-反応様式の質的分析-	日本ロールシャッハ法研究	9号	1-13	2005
<u>辻井正次</u>	新しい児童精神医学と教育の対話の時代に	児童青年精神医学とその近接領域	46巻		2005
<u>辻井正次</u>	発達障害者支援法 -その今日的意義と将来展望: 高機	発達障害研究	27巻	123-127	2005

	能広汎性発達障害 児への支援の立場 から				
熊谷豊、 <u>辻井正次</u>	成人期の高機能自 閉症、アスペルガ ー症候群の自助グ ループ	精神科	7 卷		2006
<u>辻井正次</u>	子どものこころの 専門家はどこで育 つのか	教育と医学	54 卷	56-65	2006
<u>市川宏伸</u>	発達障害の支援に 求められているも の	児童心理	825 号	84-89	2005
加藤進昌、杉山登志 郎、 <u>市川宏伸</u> 、青木省 三、十一元三、小林隆 児	アスペルガー障害 をめぐって - 症 例を中心に -	臨床精神医学	34 卷	1103 - 1116	2005
<u>市川宏伸</u>	学力（学習能力） の特異的発達障害	精神科治療学	20 卷	264-265	2005
<u>市川宏伸</u>	不登校と睡眠障害	小児看護	28 卷	1479 - 1483	2005
<u>市川宏伸</u>	発達障害をめぐる 新たな動向	こころの科学	124 号	10-13	2005
<u>市川宏伸</u>	子どもの睡眠の基 礎理解	保育の友	53 卷	11-15	2005
<u>市川宏伸</u>	児童青年精神科に おける発達障害の 診療 - 公立病院で の診療を中心に -	日本精神病院 協会雑誌	24 卷	58-62	2005
遊舎寛子、 <u>市川宏伸</u>	児童青年期におけ る双極性障害 - 青少年の攻撃性と の関連 -	精神科治療学	20 卷	1121 - 1126	2005
<u>市川宏伸</u>	発達障害について （児童精神科の治 療から）	精神神経誌	107 卷	1231 - 1235	2005
<u>市川宏伸</u>	発達障害と抗精神 病薬	発達障害研究	27 卷	255-263	2005
<u>市川宏伸</u>	行為障害 子ども	別冊宝島	1251 号	70-75	2006

	が持つ衝動的な攻撃性				
<u>小川浩</u>	発達障害支援法 —その今日的意義 と将来展望—就労 支援の立場から—	発達障害研究、	27 巻	105—107	2006
<u>小川浩</u>	ジョブコーチの人 材養成とネットワ ーク作り	知的障害者福 祉研究・サポー ト	573 号	44—47	2005
<u>小川浩</u>	職業リハビリテー ション—援助付き 雇用の現状	カレントテラ ピー	22 巻 11 号	92—95	2005
<u>田中康雄</u>	発達障害の支援の 向こう側—発達障 害支援論序説—	教育と医学	630 号	1137 — 1145	2005
<u>日詰正文</u>	アスペルガー症候 群への地域保健が 果たせる役割	実践障害児教 育	34 巻	1199 — 1205	2005
<u>日詰正文</u>	成人期のディスア ービス	そだちの科学	5 号	53—58	2005
<u>高橋脩</u>	アスペルガー症候 群の早期診断と対 応	そだちの科学	5 号	22—28	2005
<u>萩原はるみ、高橋脩</u>	自閉症の幼児期に おける発達・知能 指数の推移	児童青年精神 医学雑誌	46 巻	439—448	2005
<u>高橋脩</u>	乳幼児健診と発達 障害—最近の動向	こころの科学	124 号	22—28	2005
<u>高橋脩</u>	軽度発達障害の理 解と支援—医療・ 療育の立場から—	地域と医療	14 号	2—6	2005
<u>高橋脩</u>	障害児の発達支援 と家族支援	児童青年精神 医学雑誌	46 巻	473—477	2005
<u>緒方明子</u>	軽度発達障害再考	LD 研究	14 巻	289—294	2005

#### 18 年度

発表者	論文名	発表誌	巻 (号)	ページ	出版年
<u>田中康雄</u>	発達障害児への心 理的援助 軽くと	臨床心理学	6 巻 2 号	257—263	2006



	も生きがたい子ら				
田中康雄	発達障害を抱えながら超える10歳の節目	臨床心理学	6巻4号	481-486	2006
田中康雄	軽度発達障害の理科	月間保団連	902号	4-11	2006
田中康雄	家族・家族会・自助グループ	日本臨床	65巻3号	532-537	2007
田中康雄	発達障害と児童虐待	最新精神医学	12巻2号	111-117	2007
田中康雄	軽度発達障害に対する教育と医療の連携	精神科臨床サービス	7巻1号	92-96	2007
田中康雄	発達障害と児童虐待	子どもの虹情報研修センター紀要	4巻	34-47	2006
田中康雄	ADHDの理解と指導	コミュニケーション障害学	23巻3号	207-214	2006
田中康雄	虐待された子どもが示す非行・犯罪	子どもの虐待とネグレクト	8巻3号	308-316	2006
田中康雄	いわゆる反社会的行動を示す子どものへの対応	精神科治療学	21巻3号	265-272	2006
田中康雄	発達障害の症状評価	精神科	8巻1号	66-72	2006
田中康雄	発達障害と非行臨床	小児保健研究	65巻2号	174-179	2006
安達潤	自閉症スペクトラム障害の社会的スキル支援を考える	特別支援教育研究	585号	7-12	2006
神尾陽子、行広隆次、安達潤、市川宏伸、井上雅彦、内山登紀夫、栗田広、杉山登志郎、辻井正次	思春期から成人期における広汎性発達障害の行動チェックリスト：日本自閉症協会版広汎性発達障害評定尺度（PARS）の信頼性・妥当性についての検討	精神医学	48巻	495-505	2006

辻井正次、行廣隆次、 安達潤、市川宏伸、井 上雅彦、内山登紀夫、 神尾陽子、栗田広、杉 山登志郎	日本自閉症協会広 汎性発達障害評価 尺度 (PARS) 幼児期 尺度の信頼性・妥 当性の検討	臨床精神医学	35 卷	1119-112 6	2006
安達潤、行廣隆次、井 上雅彦、内山登紀夫、 神尾陽子、栗田広、杉 山登志郎、辻井正次、 市川宏伸	日本自閉症協会広 汎性発達障害評価 尺度 (PARS) ・児童 期尺度の信頼性と 妥当性の検討	臨床精神医学	35 卷	1591-159 9	2006
若林明雄・内山登紀 夫・東條吉邦・吉田友 子・黒田美保・サイモ ン・パロン・コーエ ン・サリー ウィール ライト	自閉症スペクトラ ム指数 (AQ) 児童 用・日本語版の標 準化—高機能自閉 症・アスペルガー 障害児と定型発達 児による検討	心理学研究	77	534-540	2006
田中恭子、内山登紀夫	アスペルガー症候 群、一病因と臨床 研究— IV. 診断の 進歩アスペルガー 症候群：診断基準	日本臨床	65	470-474	2007
内山登紀夫	青年期軽度発達障 害児者への支援を 考える 青年期の 発達障害の診断	児精誌	47 卷	252-256	2006
内山登紀夫	自閉症研究の新展 開 自閉症・ TEACCH プログラム	医学のあゆみ	217 卷	979-983	2006
内山登紀夫	気になる子どもに 対する支援のあり 方	月刊福祉	89 卷 5 号	28-31	2006
高橋 脩	自閉症とADHDの愛 着の発達について	そだちの科学	7 卷	66-70	2006
高橋 脩	軽度発達障害の早 期診断と対応—高 機能自閉症と注意 欠陥多動性障害を 中心に	現代のエスプ リ	476 号	40-45	2006

高橋 脩	発達障害の児童精神科臨床	児青誌	47 巻	316-317	2006
Harumi Ogiwara & Osamu Takahashi	The Development and Characteristics of Autistic Children Receiving Very Early Intervention	Japanese Journal of Child and Adolescent Psychiatry	46 (Supplement)	40-60	2006
小川浩、柴田珠里、松尾江奈	高機能広汎性発達障害者の職業的自立に向けての支援	LD研究	15 巻 3 号	312-318	2006
辻井正次	アスペルガー症候群の理解と地域支援のあり方	月刊保団連	902 号	42-48	2006
辻井正次	子どものこころの専門家はどこで育つのか	教育と医学	54 巻 3 号	56-65	2006
Sugihara G, Hashimoto K, Iwata Y, Nakamura K, Tsujii M, et. al.	Decreased serum levels of hepatocyte growth factor in male adults with high-functioning autism.	Prog Neuropsychopharm. Biol Psychiatry	31	412-415	2007
Nishimura K, Nakamura K, Anitha A, Yamada K, Tsujii M, et. al	Genetic analyses of the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene in autism	Biochem Biophys Res Commun	356	200-206	2007
市川宏伸	成人のAD/HD(注意欠陥・多動性障害)	都薬雑誌	28 巻	4-9	2006
市川宏伸	障害者自立支援法について -子ども精神科から-	じんけん Board (ぼーど)	7 号	3-4	2006
市川宏伸	障害をどう捉える	児童心理別冊	849 号	92-87	2006

	か				
市川宏伸	プライマリ・ケアでの発達障害の診方	プライマリ・ケア	29 巻	327-329	2006
市川宏伸	児童青年精神科と薬物治療	児青誌	47 巻	432-439	2006
市川宏伸	子どもの心の診療医の養成の現状	精神科臨床サービス	7 巻	24-28	2006
市川宏伸	児童精神科医との連携	精神科臨床サービス	7 巻	65-68	2007
成重竜一郎、市川宏伸	小児精神医療における子どもの攻撃性	心と社会	38 巻	32-36	2007
市川宏伸	発達障害についての理解と支援	職リハネットワーク	60 号	30-34	2007

19 年度

発表者	論文名	発表誌	巻・号	ページ	出版
田中康雄	軽度発達障害に対する教育と医療の連携	精神科臨床サービス	7	92-96	2007
田中康雄	発達障害と児童虐待	最新精神医学	12	111-117	2007
田中康雄	家族・家族会・自助グループ	日本臨床	65	532-537	2007
田中康雄	家族・家族会・自助グループ：児童精神医学の視点から	子ども発達臨床研究	1	3-10	2007
田中康雄	「連携」するために知るべき、それぞれの実情	LD 研究	16	16-31	2007
田中康雄	問題行動・精神所見のみかた	小児科臨床	60	709-715	2007
田中康雄	発達障害のある子どもたちと共に生きる	臨床心理学	7	313-318	2007
田中康雄	特別支援教育に向けての課題-医学	児精誌	48	118-125	2007